

広報

しんじょう

11
2008

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.611



キッズ・キッチン新庄教室 (10月25日/日新小学校)

考えよう、未来のまちづくり.....2

新庄味覚まつり.....4

新しい地域づくり.....6

新庄市の文化財.....8

最上広域19年度決算

いきいき新庄人・市民団体・企業.....9

しんじょう見聞録.....10

11月のお知らせ.....12

わたしたちの学校自慢・学校紹介.....14

市の木 [モミ]



昭和59年の市制施行35周年を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp



考えよう、 未来のまちづくり

前月号では、八市町村長の意思表明や最上地域合併研究会の設立について報告しました。今回は、最上地域合併研究会での協議内容や任意協議会の設立、市職員による将来像検討会での研究結果について報告します。

任意協議会を設立

十一月五日、新庄市・真室川町・鮭川村・戸沢村の各首長と各議長、最上総合支庁長による任意協議会「新庄最上地域合併検討協議会」(会長・新庄市長)を設立しました。

【任意協議会の協議事項】
① 新市の将来ビジョン骨格と重点施策の概要の策定



▲左から鮭川村長、真室川町長、新庄市長、戸沢村長

② 協定項目の協議事項の洗い出しと方向性の検討

③ 各市町村が重要と考える課題の選定と協議

④ 法定協議会に向けた組織体制などの準備

【今後のスケジュール】

任意協議会では、四つの協議事項を二カ月程度協議し、四市町村の議会の議決を経て新合併特例法に基づく法定協議会に移行します。

法定協議会では、新市の将来像やまちづくりの方針を定める「合併市町村基本計画」の策定や「合併協定項目」を協議します。

来年八月ごろには合併の調印を行い、新合併特例法期限内(平成二十二年三月末)の合併に向けて協議を進めていきます。

最上地域合併研究会での検討

九月二十五日に設立した「最上

地域合併研究会」は、新庄市長を会長に、真室川町・鮭川村・戸沢村の三町村長と最上総合支庁長によりこれまで五回開催してきました。研究会では、各市町村の財政と主要行政サービスの状況把握や「新市将来ビジョン骨子(案)」をまとめました。

将来ビジョン骨子(案)

- 一、安心して住み続けられる地域の創造
- 二、産業振興と所得向上対策
- 三、交流による地域の活性化
- 四、地域の特色を尊重し、生かす政策の実現
- 五、行財政基盤の確立

研究会での市町村長の主な意見

町村長の意見

● 雪対策は住民の一番の関心事である。また、これまで各市町村が行ってきた住民サービスなども、当然継続・維持していくべき。

● 地域の区別なく、安心して出産・育児や福祉サービスが受けられる環境を考えていかなければならない。

● 新庄市などの中心部は黙っていても良くなりがちだが、周辺の整備・サービスの充実を考えていかなければならない。

● 住民が心配するのは、新庄市に飲みこまれるのではないかとということである。あくまでも対等の立場であるということを示明しているが、今後、話し合いを詰めて、きちんとしたものを地域に示せば住民も安心して、合併も進むのではないかと思う。

● 今後、さまざまな事業調整などがあると思うが、いくら新市でもできないことはできないので、メリハリや予算の裏づけをしなければならぬ。必ずしも既存の事業にこだわらないで、新市の中で新しい方式で実施することも良いと思う。

市長の考え

● 住民の一番の心配は、合併したときに住民サービスが維持できるのかということだと思う。そのためにお互いどのような工夫するか、知恵を絞っていくかということが対等合併のよいところだと思っている。

● 合併の長所の一つとして、各市町村が単独でできなかった事業でも集中的に投資することが可能となる。年次を決めて地域・施策ごとに重点的に投資しなければならない。

● 今後の進め方として、任意協議会を設置し、内容をきちんと検討・協議することが必要ではないか。任意協議会で四市町村による事務局を設置し検討を重ねることで、合併の考え方を住民に提示していく。

市職員による検討結果の報告

市町村合併に向け、1月に市職員で構成する新庄・最上圏域将来像検討会を設置し、4月から5分科会で検討を行い、9月30日に市長に報告書を提出しました。今後、市は、検討会の最終報告を参考に、新市の将来に向けて合併協議を行っていきます。今回は、「まちづくり」「意識改革・情報提供」「組織」の3分科会の報告内容を紹介します。

まちづくり分科会

地域をつくることは、そこで暮らす人々の人生の舞台を創る作業です。

1. 豊かな心をはぐくみ、地域を支える人づくり

- 家庭、地域とともに子どもたちが体験学習できる環境づくりを推進します。
- 児童数を考慮し学校整備を図ります。
- 生涯学習機会の充実と施設の連携を進めます。
- 文化財、史跡景観や伝統芸能の保全保護に努めます。
- 地域文化への理解を深め、愛郷意識の醸成を図ります。

2. 地域をいきいきとさせる産業づくり

- 地産地消やバイオマス活用により、安心安全な顔の見える農業を推進します。
- 企業誘致と人材育成、地場産業を支援します。
- 地域内の回遊型・自然体験型交流を推進します。

3. みんなの知恵を結集した地域づくり

- 市民と行政が協力した「協働のまちづくり」を推進します。
- 地域間の交流を促進し、地域自治組織を支援します。

4. 安全・安心なまちづくり

- 妊婦健診や乳幼児医療費への医療費助成とともに、医療体制の確立を図ります。
- 保育施設の見直しとともに、子育て相談窓口や必要に応じた保育サービスを充実します。
- 保健施設のネットワークや県立新庄病院と町立病院、民間医療施設との連携を強化します。
- 市民と行政が連携し、地域で支えあう福祉環境をつくれます。
- 障がい者支援を充実させます。
- 保健・福祉・医療の連携を充実させ、福祉専門職の増員を図ります。
- 地域防災計画の策定や避難所整備、自主防災組織の育成・強化を促進します。

5. 自然と共生した快適な住環境づくり

- バイオマス、ごみ減量化、容器リサイクルによる循環型社会を形成します。
- 地域内循環道路、高速交通ネットワーク、二次交通体系を整備します。
- 土地利用計画を見直し、「コンパクトシティ」の概念によるまちなか居住を推進します。
- 雪に強い安全なまち(克雪)、雪を活用したまち(利雪)、雪とふれあうまち(親雪)を目指します。

6. 行財政基盤の確立

「サービス向上」と「効率化」を両立して協働の観点を取り入れ、限られた財源で最大の効果を上げます。

意識改革・情報提供分科会

1. 職員の研修と組織づくり

職員の研修や分科会・研究会などにより各市町村職員の合併に対する認識を深め、合併への理解と意思統一を図ります。

2. 市町村職員間の交流

市町村職員間の交流を促進し、相互理解を深めます。

3. 住民に対して

広報紙やホームページ、住民説明会、講演会のほかに、職員地域担当制を活用した情報提供を行います。

組織分科会

1. 庁舎機能

機能を分散した「分庁舎方式」よりは、総務・企画部門などを本庁舎、住民窓口はそれぞれ既存の役場施設に置く「総合支所方式」が適正です。

2. 地域自治組織

住民の声を反映させるため地域審議会、地域自治区、合併特例区の制度があります。合併特例区や地域自治区は、事務や経費の二重化となり、効率的な行政運営には逆行します。しかし、地域住民の不安を払拭するため、十分に議論することが重要です。

3. 行政組織

- 組織の改編／多様化する行政ニーズに対応するため、企画・財政・福祉など、組織の専門化を図ります。
- システム統合とオンライン化／すべてのシステムを統合し、本庁と総合支所間をオンラインで結びます。
- 新たな危機管理体制の確立／行政区域の拡大に伴う新たな地域防災体制の強化など、総合的な危機管理体制を確立します。

4. 公共施設

- 保育所／通勤圏内で入所できるので保護者の利便性が向上しますが、定員不足になることも考えられるので施設の統廃合などを検討します。
- 小学校・中学校／児童生徒数の推移、地域事情などを勘案し、適正規模、学区再編、統廃合などを検討します。
- 公立病院／一次・二次医療の役割分担を明確にし、連携の強化を図り、救命救急医療体制を確立します。
- スポーツ施設・生涯学習施設／指定管理者制度を活用するとともに、施設の耐用年数や利用状況などから施設の再編も検討します。

5. その他(公共交通)

交通弱者が、通院や買い物などに活用できるよう、スクールバス・公営バスの路線再編を検討します。

秋を味わおう

第一回新庄味覚まつり

くららの
んめ物語り・秋の陣



▲牛、豚、とり肉、泉田さといもが入った芋煮三昧（北本町）



▲子どもたちに人気のびっくりピザ（駅前通り）



▲がっき肉鍋（駅前通り）



▲納豆汁（駅前通り）



▲んめ「おにぎり・漬物」（各商店街）



▲とりもつラーメン
と手打ちそば（中央通り）



開同
催時

百円商店街
アンテナモール



▲全国の特産品を集めたアンテナモールの
オープニングセレモニー



▲多くの人出でにぎわう商店街

第一回新庄味覚まつりの開催に合
わせて、第二十三回新庄百円商店街
が開催されました。また、「百円商店
街」を実施している全国十カ所の特産
品を集めたアンテナモールも開催され
ました。鹿児島や佐賀、広島など全国
各地の特産品が商店街に並び、多く
の人たちでにぎわいました。

秋の味覚と一緒に楽しんだ催し



▲保育所の子どもたちが太鼓を披露(南本町)



▲子どもたちによる開会宣言(南本町)



▲小学生綱引き大会(中央通り)



▲新庄まつり囃子の演奏(駅前通り)



▲道路にお絵かき(北本町)



▲わくわく科学実験(南本町)



▲リサイクルトレーを回収(各商店街)



▲スタンプラリー抽選会(駅前通り)



十月十八日(土)、地元の味覚を楽しもうと、第一回新庄味覚まつりを開催しました。秋晴れのもと多くの人が中心商店街を訪れ、新庄の秋の味覚を存分に味わいました。

▲大きな鍋の鴨鍋(南本町)



▲つきたてもちのふるまい(南本町)

同時開催

第十五回新庄市健康福祉まつり



▲歯に関する相談(こらっせ新庄)



▲県立保健医療大学・日下部明学長による基調講演(市民プラザ)

第十五回新庄市健康福祉まつりを開催しました。市民プラザでは、県立保健医療大学・日下部明学長が「考えよう健康と福祉」と題して基調講演を行いました。こらっせ新庄イベントホールでは活力年齢テストや、歯に関する相談コーナーなど「食と健康」をテーマにした体験・展示が行われました。

新しい地域づくりを目指して

～すべては話し合いの「場」づくりから～

今年度、市民活動交流ひろば「ぶらっと」では、地域社会が抱える課題を解決し、住みよい地域にするためにさまざまな取り組みを実施しています。その取り組みのひとつとして、鳥越地区をモデル地区に、県内外において地域づくりの普及と実践活動をしている、地域づくりプランナー・高橋信博さんを講師に迎えて「地域づくりワークショップ（講習会）」を開催しました。今回は、鳥越地区で行われたワークショップの様子を紹介します。

鳥越地区の取り組み

地域散策（第一段階）

地域の人たちが、一グループ十人ぐらいで三グループに分かれ、鳥越地域内の散策を行いました。各グループは、気づいたこと（良い点・悪い点）を写真に撮りながら、図面にその位置と内容を書き入れました。どのグループも周っていたのが、鳥越八幡神社周辺でした。境内裏山には、農民活動家・松田甚次郎が野外で演劇を行った「土舞台」を含め、都市公園として整備された遊歩道や水路、東屋などが残っています。今は雑木が育ち見えなくなっていますが、建設当時の東屋からは、新庄の町並みが見渡せたそ



▲地域散策

鳥越地区とは？

南北朝時代に、現在の東根市から移ってきた小田島氏（鳥越氏ともいう）によって開かれた村と伝えられています。その小田島氏の居城であった鳥越楯（城跡）の遺構も見られ、大手口周辺に国重要文化財・八幡神社社殿（江戸時代建立）があります。

また、宮沢賢治の教えを受け継ぎ、農村改善運動に情熱を燃やし続けた農民活動家・松田甚次郎の出身地であり、自給自足の農業経営を実践した活動の場としても知られています。



▲松田甚次郎

地域の課題探し（第二段階）

地域散策で撮影した写真と気づいたことを、より大きな図面に書き込む作業となり、グループごとに丁寧に作業が進みました。

作業終了後、それぞれが作成した地図を張り出し、自分たちが考えた鳥越地域のキャッチコピーと一緒に発表しました。

発表の中では、「鳥越八幡神社周辺をもう少しだけでも散策できるように整備できないか」など鳥越八幡神社に関わる意見が多く出され、鳥越地区にとってこの神社（周辺）が象徴的なものであることを再確

うです。

各グループとも、年代の違う人たちが、地域での思い出を語り合いながら楽しく散策していました。

認することができました。

また、首都圏から鳥越地域に嫁いできた人は、「改めてここが良い所だと感じました。地域の方は、これがあたりまえのことで、この良さを感じていない人が多いのではないのでしょうか」などの意見も出されました。



▲地域の課題探し

地域の提案(第三段階)

地域の課題を整理するために、地域散策で気づいたことや日ごろ感じていることを「○○を○○としてほしい」といった他人任せの要望的なものではなく、「○○が○○になったらいいな」といった希望的な地域課題として提案することになりました。

ある程度まとまった後に次の作業として、地域課題を「今すぐできること」「二・三年かけて実施すること」「もっと時間をかけて実施すること」の三つに分け、課題を解決するために「時間的な整理」を行いました。

実践に向けて(第四段階)

「時間的に整理」した課題を今度は、「地域が実践すべきこと」「互いが協力して行うべきこと」「行政が実践して成果が上がるもの」といった「実施主体の整理」に入りました。各項目に整理された課題を基にグループ内で意見を交わしながら、これからの鳥越地域の地域づくりに向けた地域実践計画を完成させました。

最後に、グループごとに鳥越の魅力を一挙に発表し、「これからの地域を良くしていくためにしなければならぬこと」を確認し合いました。



みんなで鳥越をよくしていきたい

伊藤信助さん(鳥越)

わたしは、ワークショップで年配の方々と一緒に鳥越を散策してみて、意外とこの地域を知らなかったということに気がつきました。

今年10月11日に行われた「鳥越八幡土舞台文化祭」は、かつて鳥越八幡神社で行われていた「土舞台」の話がワークショップの中で出て、ここをなんとかしたいという参加者たちの思いに、地域のみんなが応えてくれて実現することができたものです。

わたしは、今回のワークショップをきっかけに、先人たちが残してくれた鳥越の良い歴史や文化を継承しながらも、自分たちの地域を「こうしたらいいな。こうしたいな」という思いを出し合い、地域のみんまで鳥越を盛り上げていければいいと思います。

市民活動交流ひろば「ぶらっと」では、今後も地域づくりのためのワークショップの開催を予定しています。興味のある方は「ぶらっと」までお問い合わせください。

◎市民活動交流ひろば「ぶらっと」 ☎23-6211
eメール plat@ic-net.or.jp



▲土舞台文化祭で観月雅楽会が雅楽を披露

新しい地域づくりに向けて

このように、鳥越地区では、地域住民が主体となり、地域の課題整理と、今後の地域づくりの方向性を見出すことができました。

鳥越地区のように、歴史や文化といった地域の資源を再確認し、活用することで、個性ある地域づくりにつなげていくことができます。

新しい住宅地などでは、このような取り組みが難しいと思われるかもしれませんが、地震など災害に備えた自主防災の組織づくりや、地域独自の子ども見回りや危険個所のマップづくりなどに取り組むことにより、地域内の話し合いの場が生まれるのではないのでしょうか。そして、このような取り組みが、人と人の支え合い、助け合う地域づくりにつながっていきます。

地域づくりのためのワークショップ

◆ワークショップとは？

直訳すると、工場とか仕事場という意味になります。地域づくりでは、老若男女の枠を越えたさまざまな立場の人たちが、地域のことを一緒に話して話し合う集まりのことをいいます。

◆なぜワークショップが必要か？

都市化が進んで、地域社会のつながりの希薄化や、少子高齢化・人口減少が進み、一人暮らしの高齢者支援や除排雪、防災など地域の課題ができています。このような課題を解決するためには、地域内の助け合いが必要となり、その体制をつくるには、地域住民が数多く参加して話し合う「場」をつくらなければいけません。

◆何をやるのか？

まずは、地域の人たち自らが地域を良く知ることです。次に、地域の課題を「何を」「いつ」「だれが」どのようにするか「明確に整理し、その課題を解決していきます」。

◆原点は「地域への関心」

地域づくりの原点は、地域に関心を持つことから始まり、地域活動に参加することによって発見が生まれ、地域を理解することで地域の創造につながっていきます。

天満宮の大改修始まる

最上公園として親しまれている新庄城址の南西隅に立つ天満神社ですが、建立後340年も経つために、木部や茅屋根の傷みが激しく、早急な修理が必要とされていましたが、山形県と新庄市の補助やみなさんの協力をうけて、先月から改修工事が始まりました。

江戸時代前期の建築様式の特徴をよく表わす神社建築で、県の指定文化財にされていますので、傷んだ部分だけを直す手法ですが、今年は解体、来年は木工事、3年目は屋根部分にかかります。



天満宮は、新庄藩主・戸沢氏の氏神として旧領秋田県角館時代から地域の人々に広く敬われてきた神社です。

新庄まつりの保存会が設立

宝暦6年(1756)に天満宮の祭典として始まった新庄まつりですが、山形県を代表する山車まつりとして、今年も県内外から42万人もの人出がありました。

現在、新庄まつり行列は市の無形民俗文化財に指定されています。市では、地域を挙げて新庄まつりの国指定文化財の実



現に取り組んできましたが、このたびこれを大きく前進させる保存会組織がつけられました(新庄まつり山車行事保存会・大友義助会長)。

保存会では、新庄まつりの保存と伝承、その歴史と民俗調査などを進め、地域の伝統文化の発展に力を入れていきます。

大森山のオクチョウジザクラ

ごぞんじですか、休場の山中にある桜。オクチョウジザクラといって、休場から山屋に通じる農道の途中にあって、道路からも望めます。20数本の株立ちで、枝張りは直径10m以上にもなる大株です。

こうした桜は、昔から薪や炭に使われるため伐採されるのがふつうでしたが、この木は切られることがなかったうえに、ススキの原にあって日当たりも良かったために大きな株となったもので、全国でも最大級と考えられています。

この桜は、今年3月26日に市の文化財(天然記念物)に指定されました。



最上広域市町村圏事務組合からのお知らせ

～平成19年度最上広域市町村圏事務組合の決算概要～

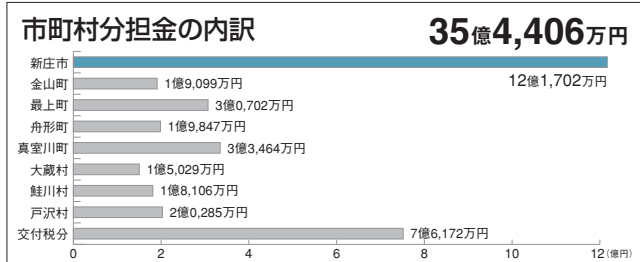
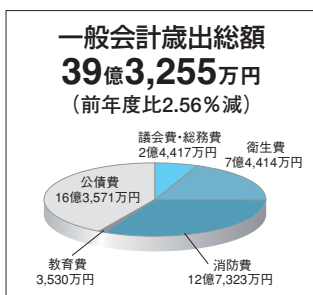
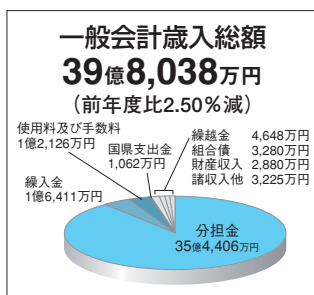
最上広域市町村圏事務組合10月定例会で、平成19年度の決算が承認されました。

一般会計歳入総額は39億8,038万円、18年度に比べ1億203万円の減(△2.50%)、同歳出総額は39億3,255万円と18年度に比べ1億337万円の減(△2.56%)となっています。

この主な要因は、消防費における4名の退職者と新規採用職員4名の人件費の差額、消防施設費における備品購入費の皆減、公債費における広域交流拠点施設「ゆめりあ」の借入金の利子の減

額、し尿処理施設「もがみクリーンセンター」の借入金の利子の減額によるものです。

今後、ごみ処理施設・し尿処理施設などの機械や設備の老朽化に伴う維持管理費用の増加が見込まれますが、現在検討を進めている消防救急体制の見直し、ごみ・し尿処理施設の運転管理業務の見直し、指定管理者制度の導入などを進め、効果的かつ効率的な行財政運営を行い、住民福祉の向上に努めていきます。



一般会計の主な事業

- 広域交流センター「ゆめりあ」運営事業 7,157万円
- ごみ焼却施設「エコプラザ」運営事業 3億7,800万円
- 資源リサイクル施設「リサイクルプラザ」運営事業 1億465万円
- し尿処理施設「クリーンセンター」運営事業 1億3,852万円
- し尿処理施設「最上衛生事業所」運営事業 6,675万円
- スtockヤード整備事業 2,900万円
- 旧埋立場閉鎖整備事業 2,205万円
- 消防・救急業務運営事業 12億7,322万円
- 教育研究センター運営事業 3,507万円
- 公債費(借入金の返済) 16億3,571万円

ふるさと市町村圏事業特別会計の主な事業

- 少年少女沖縄交流(派遣・受入)事業 400万円
 - 最上大産業まつり開催補助金 180万円
 - 「もがみ地域物産コーナー」沖縄市への設置事業 124万円
 - 全日本ラングラウフ月山大蔵大会共催負担金 70万円
- ◎詳しくは、最上広域市町村圏事務組合総務課へ。☎22-2674

いきいき
新庄人

ふるさとの味を首都圏へ発信!

おふくろの会
高橋 チエ子さん(金沢新町)



「原材料からすべて新庄産にこだわったおいしい農産物で都会の人たちに新庄の良さをピーアールしています」と話す高橋さんは、農産物や加工品を製造・販売する「おふくろの会」の代表を務めています。

「食の安心・安全が心配されるいま、無農薬、低農薬、無添加など安全でおいしいおふくろの味を都会の人たちにも届けたいと、10月26日に東京都国立市で、農産物や加工品の産直物産展を開きました。

この物産展は、市内の新聞販売所の仲介で国立市の新聞販売所を会場に直売が実現しました。昨年に引き続き今年が2回目。昨年は2時間で完売してしまったので、今回は昨年の10倍の量を準備しました。新鮮野菜や新米、漬物やくじら餅、笹巻などの加工品、最上川の天然アユなど14トントラック2台分の物産を持ち込みました。

当日、午前9時の開店時には、200人以上の人が並び、午後4時の閉店まで、人が途絶えることなく新庄産のおいしい産品をたくさん買い求めてもらいました。新庄・最上地域出身者も会場に来てくれて、くじら餅や笹巻などをなつかしがってくれました。

協力してくれた関係者の人たちに感謝し、これからも、おふくろの味を守りながら、おいしい農産物で新庄をもっともっとピーアールしていきたいです」と高橋さんは、元気な笑顔で話してくれました。



▲山尾市長も会場に駆けつけ新庄をPR(写真提供/朝日新聞社)

いきいき
市民団体

障がいを持つ人も持たない人も
地域で共に生活

NPO法人「すぎのこハウス」



▲利用者、家族、スタッフで行った小岩井農場

◎すぎのこハウス ☎29-4682

「すぎのこハウス」は、平成十三年に新庄養護学校の保護者を中心となってスタートしました。現在は、「指定障がい福祉サービス事業所すぎのこハウス」として生活介

護や就労支援を行い、障がいを持つ人も持たない人も共に地域で暮らすことができる社会の実現を目指しています。

「すぎのこハウス」には、最上郡内の心身に障がいがある十代〜五十代の男女が、自宅から毎日通っています。共に働き、活動する喜びを見いだし、互いの個性を尊重しながら助け合っって心豊かな生活を送りたいと願う仲間たちが集まり活動しています。

音楽の好きな人が多く、「すぎのこバンド」を結成し、各イベントや老人施設などで演奏し、さまざまな人たちと交流を図っています。週一回の音楽クラブは、みんな楽しく練習に取り組み、少しずつメンバーを増やし、新曲を発表

するのを楽しみにしています。

開設以来続けてきたお菓子作りでは、各種ケーキやクッキーなどを繰り返し買ってくれる人も増え、生産が追いつかないくらいです。お買い上げいただいた人々には、感謝の気持ちでいっぱいです。わたしたちが作ったお菓子を食べて、「おいしいね」と声をかけてもらうことも幸せな気持ちになります。今後も、バンド演奏やお菓子づくりなど楽しみながら活動を続けていきたいです。

■一歩、フェスタ2008(12/5~6)
「すぎのこバンド」演奏 お菓子販売
○バンド演奏 6日午後1時30分
○ゆめりあ 花と緑の交流広場
ぜひ、ご来場ください。

いきいき
企業

株式会社
平井精密山形工場
(横根山)



当社は、昭和六十年に山形工場を設立し、翌年に山形平井精密として独立法人化、平成十五年に大垣工場と合併し、現在は

平井精密山形工場として、おもにLEDや電子部品用の材料に機能めつきを行っています。その用途はさまざま、幅広い分野で使用されています。

当社は、自社でめつきラインの設計・施行を手がけ、さまざまな要求に対応した多彩なめつき仕様の加工を可能にできました。山形工場は平成十八年に新工場を建設し、めつきラインを拡充しました。

また、平成十八年に環境ISOを取得し、環境に配慮したクリーンな生産活動を目指し、電子部品に規制される化学物質の全廃について積極的に取り組んでいます。

今後も、社会に貢献する企業を目指します。

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲長寿100歳のお祝い(10月7日)



▲エコロジーガーデン野外コンサート(10月12日)



▲最上地区の小・中学生などが出演した最上地区吹奏楽祭(10月11日/市民文化会館)



▲「だがしや楽校」で工作を楽しむ子どもたち(10月19日/市民プラザ)



▲雪調の窓から新庄・最上の夢を語ろうと題して開催された第44回市民雪セミナー(10月19日/雪の里情報館)



▲地域住民による初期消火訓練(10月25日/本合海小学校)

長寿100歳のお祝い

阿部ヒサさん(明治41年10月5日生まれ)が満100歳を迎え、市からお祝いと賀詞を贈りました。市長の「おめでとうございます」との言葉に「ありがとうございます」とこたえました。長寿の秘訣は早寝・早起きと働くことで、毎日の楽しみは玄孫(やしやご)とふれあうこと。平成9年に制定された長寿祝いを受けた人は阿部さんで27人目となりました。

みどりとやすらぎの調べ

NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄がエコロジーガーデンで野外コンサートを開催しました。コンサートには新庄市出身のトロンボーン奏者小田原朝雄さんがピアノ渋谷康幸さん、テノール伊藤民夫さんと共演しました。みどりに囲まれた屋外の開放的な空間に流れるやすらぎの調べを楽しみました。

教育についてみんなで考えよう!

新庄市教育の日「コスモスデー(11月3日)」の前後2週間にあたる「コスモス教育月間」のオープニングセレモニーが開催されました。小・中学生による小中連携の実践発表や宇都宮大学教授・廣瀬隆人氏による基調講演会が開かれ、同時に開催された「だがしや楽校」では子どもたちが折り紙や工作などを楽しみました。

大規模な災害に備えて

本合海地区を主会場に新庄市総合防災訓練を開催しました。震度6強の地震により多数の被害を受けたとの想定で救助艇による水難救助訓練や避難誘導訓練、初期消火訓練などを実施。訓練には、地域住民や消防団など約644人が参加。参加者は、大規模な災害を想定したさまざまな訓練に真剣に取り組みました。



栄光をたたえて

■第30回新庄市総合体育大会(1位のみ掲載)
【サッカー】Aブロック新庄バリエンテFCスポ少Bブロック日新サッカースポ少**【柔道】**男子／小学1・2年生笹原陸(神室柔道)同3・4年生高山裕次郎(日新柔道)同5・6年生叶内大誠(丹野柔道)中学生団体日新女子／小学1・2年生阿部汐華(新庄地区錬成会)同3・4年生福嶋佳愛(神室柔道)同5・6年生柿崎愛花音(日新柔道)中学生個人森遥香(日新)
【剣道】男子／小学4年生以下菊地諒(東山錬成会)同5年生以上工藤剣斗(東山錬成会)高校生根田正輝(新庄東)一般谷口伸一(新庄東高)女子／小学4年生以下岸千晶(新庄地区錬成会)同5年生以上吉泉佳穂(東山錬成会)高校生大場清華(新庄東)一般川又朋美(新庄市役所)**【野球】**クラブジャパン**【弓道】**男子／高校生個人柴田純(新庄北)団体新庄北A金の牧和幸(新庄北)花的牧和幸(新庄北)／一般竹内憲(新庄弓道連盟)金の橋本久(新庄弓道連盟)女子／高校生個人小嶋麻由(新庄北)団体新庄北A**【自転車】**男子／中学生吉田和志(明倫)小学生低学年叶内比呂(日新)幼児早坂壮平(下金沢町)女子／小学生低学年新田美麗(泉田)**【クレー射撃】**トランプ／Sクラス渡部市太郎Aクラス阿部義春Bクラス伊藤良樹Cクラス沼沢国栄スキート／Aクラス栗田広好Bクラス井上勝太郎

■第46回新庄ロードレース大会
 高校女子(3km)①高橋麻希(新庄神室産業)中学生(3km)／男子①矢口頌(日新)女子①小野菜倫(萩野)小学6年(1km)／男子①小林奏(沼田)女子①佐藤咲希(萩野)小学5年(1km)／男子①丹宏介(泉田)

■ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
【最優秀賞】庄司拓人(萩野中)**【優秀賞】**佐藤浩太(萩野中)阿部灯里(萩野中)小野未羽(萩野中)星川瑞希(萩野小)**【優良賞】**山口一樹(萩野中)叶内祥太(萩野中)中川慎(萩野中)須藤修平(萩野中)阿部咲良(萩野中)

人権擁護委員

新庄市人権擁護委員に、渡辺庄二さんが10月1日付けで委嘱されました。



▲第23回みちのく民話まつり・秋語り(10月25日/旧矢作家住宅)



▲モンテディオ山形のコーチによるキッズサッカー交流会(10月23日/最上公園)



▲第46回新庄ロードレース大会(10月5日/市陸上競技場周辺)



▲2008いものこマラソン(10月13日/市陸上競技場周辺)



▲ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式(10月21日/ゆめりあ)



▲女性団体連絡協議会と市長の語る会を開催(10月23日/市民プラザ)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

11月は「児童虐待防止推進月間」
～助けての 小さなサイン 受け止めて～
子育てについての悩み、子どもに関すること
お気軽にご相談ください。

◎福祉事務所児童支援室 ☎内線547
◎子育て支援センター ☎22-5115

第11回 泉田フェスティバル ゆめりあ公演

○とき 12月14日(日)午後1時開演
○ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
○内容 泉田保育所の児童による「元氣太鼓」、泉田雛子若連による「新庄まつり雛子」、泉田小表現運動クラブによる「ダンス」、泉田元氣会による「素人演芸」、民謡・舞踊愛好会による「民舞」、萩野中吹奏楽部による演奏、泉田小6年生による創作劇「本当の宝物は」ほか
◎詳しくは、泉田フェスティバル実行委員会・事務局へ。 ☎080-1815-9995

2009年版やまがた 県民手帳販売中です

○とき 12月22日(月)まで
○ところ 市役所東庁舎1階情報統計室
○価格 600円
◎詳しくは、政策経営課情報統計室へ。 ☎内線426

平成20年住生活総合調査に ご協力ください

○対象 10月の住宅・土地統計調査に回答のあった世帯の一部で県内の約1,020世帯
○調査日 12月1日(月)現在
○調査方法 県知事が任命した統計調査員が訪問し、調査票を配布・回収します。
◎詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。 ☎内線524

新庄市建築物耐震改修促進 計画(案)にご意見を

▼計画の主な項目 計画の目的／位置づけ／建築物の耐震診断・改修の実施に関する目標／建築物耐震化促進の基本方針・支援策などの総合的な安全対策／地震に対する安全性向上についての啓発／その他耐震診断・改修の促進について必要な事項

▼公募期間 11月10日(月)～12月9日(火)

▼計画案の閲覧場所 市役所都市整備課、市民課、市民プラザ、わくわく新庄、図書館、萩野地区公民館、八向地区公民館、市ホームページ
▼意見の提出方法 任意の用紙に住所、氏名を記入し、郵送、ファクス、メールで

問 都市整備課建築住宅室
☎内線521

誰でもできる！簡単・きれいなクリスマスリース

▼とき 11月22日(土)午前10時～11時30分 ▼ところ ぶらっと(市民プラザ内) ▼講師 柿崎良子さん(ぶらっと人材バンク)
▼材料費 1,000円
▼定員 10人
▼申し込み 11月17日(月)まで

クリスマスリース 手づくり教室

▼とき 11月25日(火)午前10時～正午、午後7時～9時
▼ところ わくわく新庄
▼内容 自然素材を使ったクリスマスリース ▼講師 鈴木信夫さん ▼材料費 1,500円
▼定員 各20人
▼申し込み 11月20日(木)まで

問 わくわく新庄 ☎23-0197

最上伝承野菜を使った 秋の料理講習会

▼とき 11月26日(水)午前9時30分～午後1時
▼ところ 市民プラザ調理室
▼講師 四季の宿松屋 高山 茂さん
▼材料代 1,000円
▼申し込み 11月19日(水)まで

冬を楽しむ「おうち講座」 はじめてのモチーフ編み

▼とき 11月29日(土)午前10時～正午
▼ところ 市民プラザ和室
▼講師 新庄ベンチャークラブ 会員
▼参加費 無料 ▼定員 15人
※有料託児あります(要予約)
問 新庄ベンチャークラブ・桶渡 ☎090-5834-5870

第63回 県美展新庄巡回展

○とき 11月19日(水)～11月24日(月) 午前9時～午後5時(最終日は正午まで)
○ところ 市民プラザ ギャラリーほか
○入場料 200円(成人のみ)
◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

第44回市民雪セミナー 「人身雪害・最近の動向と背景」

▼とき 11月16日(日)午後2時～3時 ▼ところ 雪の里情報館 雪国文化ホール
▼内容 冬目前！安全で快適な雪国生活を考えてみませんか
▼講師 東北工業大学建築学科教授・沼野夏生氏
問 雪の里情報館 ☎22-7891

河川の伐採木を 利用しませんか？

河川内の支障になるヤナギなどの木を伐採し、現地で無償提供します。
▼とき 12月上旬～下旬(日程はお問い合わせください)
▼ところ 指首野川(北辰橋) 国道13号下流
問 最上総合支庁河川砂防課 支障木担当 ☎29-1408

＼ 入会受付中!! /

ヤマハの教室 おトクなサイト情報

携帯から >>>

音楽教室はコチラ
携帯サイトにアクセスすると...
特典 待ち受け画像プレゼント!
さらに 特受「電池チャージャー」プレゼント!

英語教室はコチラ
携帯サイトにアクセスすると...
特典 待ち受け画像プレゼント!
特典 歌って楽しい教材が音×ロ!
音×ロもプレゼント!

携帯サイトURL http://yamaha-ongaku.mobi

体験教室、レッスン見学の申し込み・お問い合わせは **Tazawa 音楽センター** ☎22-27157

カフェ&レストラン

花はな

☎23-8423

2F 「花はな」
●営業時間 オープン!
AM10:00～PM8:00
(定休日/毎週水曜日)

ランチ、ケーキ、ドリンクバーなど... ☎23-8423

☎22-0345

新庄市本町4-33



こころの花いけばな展

○11月30日(日)午前10時～午後5時
12月1日(月)午前10時～午後4時
○市民プラザギャラリー
◎華道瑩心流最上支部・小松 ☎22-6293

11月のお・知

催しなど

心をひとつに新養祭

- とき 11月22日(土)午前9時20分～正午
 - ところ 県立新庄養護学校
 - 内容 手話を使った歌、太鼓演奏、演劇のステージ発表、作品の展示・販売など
- ◎詳しくは、新庄養護学校へ。☎22-3042

市民公開講座「緩和医療について」

- とき 11月23日(日)午後1時～5時
 - ところ ゆめりあ ホール・アベージュ
 - 内容 緩和医療についての講演(講師/聖路加国際病院医長・林彰敏氏)と代替医療、医療相談会
- ◎詳しくは、県立新庄病院医事経営課へ。☎22-5525

第7回 最上地域バイオマスフォーラム

- ～持続可能な地域循環型社会の構築を目指して～
- とき 11月28日(金)午前9時～午後4時50分
 - ところ バイオマス関連施設、市民プラザ
 - 内容 午前/施設見学(村山市木質バイオマス発電施設～新庄市下水汚泥燃料化施設)、午後/基調講演、事例発表、総合討論
- 申し込み 11月18日(火)まで
◎参加無料です。詳しくは、最上総合支庁産業経済企画課・木戸へ。☎29-1307

絵本作家「あべ 弘士」講演会「どうぶつに絵をならった日々」

- とき 11月29日(土)午後2時～
 - ところ 市民プラザ 大ホール
 - 申し込み 事前に電話で
- ◎詳しくは、市立図書館へ。☎22-2189

市民文化会館自主事業「因幡兎」アコースティック・コンサート2008

- とき 12月5日(金)午後6時30分開演
 - ところ 市民文化会館大ホール
 - 前売券 指定席3,500円、自由席3,000円(当日券は500円増)
 - チケット取り扱い 市民文化会館、(株)田澤、丸井八文字屋
- ◎詳しくは、市民文化会館へ。☎22-7029

ものごと

出前技術相談会

▼対象 県内のものづくり企業(個人事業者を含む)
▼とき 11月18日(火)午前10時～午後3時
▼ところ 舟形町商工会館
▼内容 県工業技術センター職員による工業技術、製品開発などについての無料相談
▼申し込み 事前に電話で

問 山形県商工会連合会
☎023-646-7211

市提携融資制度

生活応援ローン

▼対象 市内在住の勤労者(各種要件あり)
▼使用目的 教育費、出産費、医療費、冠婚葬祭などの生活資金
▼融資金額 150万円以内
▼年2%固定金利保証
▼担保不要

問 東北労働金庫新庄支店
☎22-7151

住民税の住宅ローン控除

の申告について

住民税の住宅ローン控除に該当する方は、市への申告が毎年必要です。
給与収入のみで所得税の確定申告を行わない人が市への申告をする場合は、金融機関の年末残高証明書と給与所得の源泉徴収票が必要です。
金融機関の年末残高証明書は、年末調整時に事業所へ提出する前にあらかじめコピーをとっておいてください。また、申告書提出時に源泉徴収票の原本も一緒に提出していただきますので、源泉徴収票は大切に保管してください。
※市ホームページにも住民税の住宅ローン控除についての内容を掲載していますので、ご覧ください。

問 税務課課税室 ☎内線142

国民年金保険料は

税申告の控除対象です

国民年金保険料は、全額が所得税や住民税申告の社会保険料控除となります。社会保険庁から控除証明書が送付されますので、年末調整や申告のときに提出してください。紛失した場合は控除証明書専用ダイヤル(☎0570-0700117)をご利用ください。

問 新庄社会保険事務所
☎22-2050

若者就職支援出張相談

毎週金曜日(日)に拡充します

10月から、「若者就職支援センター」出張相談in最上が拡充され、毎週金曜日(日)にゆめりあで開催しています。
▼相談時間 午前10時～午後6時

問 県若者就職支援センター
☎080-1809-0302

多重債務でお困りの方へ

新庄・最上8市町村と最上地区労働者福祉協議会、認定司法書士が連携して、多重債務者の相談に応じるため「最上地区多重債務対策ネットワーク」を設立しました。最上郡内に居住する方はどこの市町村でも無料で相談できます。

問 市民課市民相談室 ☎内線125

新庄警察署から

警察では、指名手配被疑者の追跡捜査、早期検挙に取り組んでいます。指名手配被疑者によく似た人を見かけたなど、ささいな情報でも通報いただくようお願いいたします。

問 新庄警察署 ☎22-0110

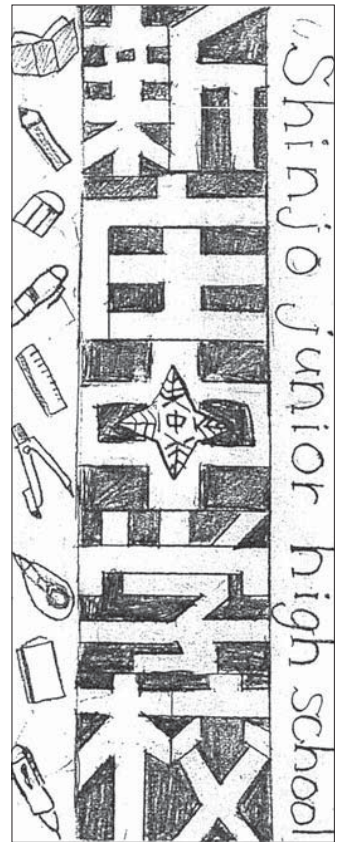
応援します！在宅介護

- 福祉用具レンタル事業
福祉用具を必要な期間お貸しするシステムです。経済的にご活用いただけます。
- 住宅改修事業
長年住み慣れた家で安心して生活していただけるように、身体状況に合わせて、バリアフリー仕様への改修の相談・施工を承ります。公的補助金(上限20万円)の申請等につきましてもアドバイス致します。

- 福祉用具販売事業
搬入時の設置や取扱い方法のご説明からメンテナンスなどにも迅速に対応致します。
- 患者搬送事業
車椅子やベッドのまま、病院の通院、入院、退院、養護福祉施設などへの移送、また、旅行などにも送迎いたします。お気軽にご相談ください。
▲福祉タクシー利用券・重度身体障害者移送サービス事業もご利用いただけます。



株式会社 医療救急サービス
〒996-0026 新庄市大町2-26
フリーダイヤル ☎0120-64-1199
<http://www.3ic-net.or.jp/~sheep/index.html>



題字 1年 加賀谷 慧

学校と地域の結び付き
～小中連携の取り組み～

二年 関 健太

ぼくたちの学校では、小中連携の取り組みとして、たくさんのごことを行っています。

一つ目は朝のあいさつ運動です。月に二回程度、昨年度から継続して行っています。このあいさつ運動によって小学生や地域の人たちとの交流が深まり、以前に比べ、あいさつを返してくれる人が目に見えて増えてきています。この運動は地域の活性化にもつながっているのです。ほかの学校にも自慢できることです。



これらの活動
をこれからも活
発に続けていき
たいと思います。

二つ目は、指野野川のクリーン作戦です。小学生や高校生、地域のひと協力してごみ拾いや草刈りなどを行っています。河川を清掃することによって、川もきれいになり、自分たちの環境に対する意識も高まります。

絆を感じ誇りを持って
～新庄中学校二大行事～

二年 阿部 優衣

わたしたちの学校には、一年の間に全員が一丸となり全力で行う大きな行事が二つあります。

一つ目は、春に行われる大運動会です。黄紫・白に分かれて戦います。一人ひとりが輝き、主役となり、チームのために全力でがんばります。そして各組が団結し優勝を目指します。感動の涙を流し、笑顔に満ち溢れ、青春を思いっきり楽しむことができます。



運動会と合唱祭、どちらも自分と仲間を信じての大切な行事です。

二つ目は、秋に行われる合唱祭です。この日のために各クラス遅くまで練習します。当日ホールに響く歌声にクラスが一つにまとまると実感することができ、みんなの心に「クラスの絆」が深く刻まれます。

活発な愛修会活動をするために
～新庄中学校の生徒会活動～

二年 青木 成美

わたしたちの学校では、あいさつ運動にとも力を入れています。委員会同士が連携して毎日朝のあいさつ運動を行っています。ただあいさつをするだけではなく、元気に明るいあいさつを心がけています。また、どのようにしたらみんなが進んであいさつをするのか工夫しながら、日々あいさつ運動に取り組んでいます。

また、新庄中学校では十一の委員会が連携しながら学校をもっとよいものにするための努力をしています。服装や授業態度など生徒全員がきちんとできるように、服装点検や授業態度点検などさまざまな活動を行っています。



これからも、いろいろな愛修会活動を行い、より活発な学校になるように生徒全員が一丸となつてがんばっていきたいと思います。

わたしたちが編集しました!



▲左から関さん、加賀谷さん、阿部さん、青木さん

郷土の歴史

ひとくち
新庄市史

②0 戸沢氏の

松岡(高萩)時代

徳川家康は、慶長五年(一六〇〇)の天下分け目の戦い(関ヶ原の戦い)で石田三成に勝利し、慶長八年には将軍となる。江戸幕府の始まりである。

慶長七年、角館の戸沢政盛は、関ヶ原戦で徳川方につき奮戦した功により、常州現在の茨城県・多賀郡・茨城郡のうち四万石を賜った。翌八年、政盛は小川城(現茨城郡小川町)に入り、その三年後、多賀郡松岡(現高萩市)に築城、元和八年(一六二二)に新庄に転封(国替え)になるまで、ここを居城とした。

政盛の松岡時代は二十年にすぎないが、この間に召し抱えられた家臣団は、後に新庄藩政の中枢を担うことになる。家老・本末などの要職についた井関・北条、幕末の家老天野、郡奉行・代官を務めた雨谷・寺内・唐牛・安嶋等の諸氏は、みなこの時代に召し抱えられた家臣(子孫含む)である。旧来からの家臣との対立も少なからずあったと思われるが、この松岡時代に、政盛は古い時代の体質を脱し、新しい時代の大名として生まれ変わったのであろう。また、政盛は幕府への忠勤を励ん

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『チェンジング』

吉富 多美 著(新庄市出身)

150万人を感動の涙でつつんだ『ハッピーバースデー』の著者であり新庄市出身作家の吉富多美さんが送る、4年ぶりの待望の児童書…心の処方箋シリーズ。吉富さんからいただいたメッセージ“真の勇者の道を歩まん”には、たくさん思いがこめられています。



● 今月のテーマ展示 ●

「夫婦・家族」

11月22日「いい夫婦の日」・23日「いい家族の日」にちなんで“夫婦とは・子育てとは・家族とは”をテーマに展示します。

新着児童図書

- ◆ チコときんいろのつばさ……レオ・レオーニ
- ◆ キンギョのてんこうせい……阿部夏丸
- ◆ しっばいにかんぱい! ……宮川ひろ
- ◆ ムジナ探偵局 一完璧な双子……富安陽子
- ◆ 小学生までに知っておきたいマナーと作法・野口芳宏
- ◆ あーちゃんのおにいちゃん……ねじめ正一
- ◆ ごくらくちょうちょ……山下明生
- ◆ へんしんマジック……あきやまだし
- ◆ あっ!(はじめての絵本タイム) ……中川ひろたか

新着一般図書

- ◆ 右岸……辻 仁成
- ◆ 左岸……江國香織
- ◆ チーム……堂場瞬一
- ◆ 犯意 一その罪の読み取り方……乃南アサ
- ◆ 13番目の物語 上・下……ダイアン・セッターフィールド
- ◆ 汐のなごり……北 重人
- ◆ 龍馬のピストル……松田十刻
- ◆ 月下天使(ドールズ) ……高橋克彦
- ◆ おばさん未満……酒井順子
- ◆ 乙女の教室……三輪明宏
- ◆ 反米経済 一凋落するアメリカに追随してはいけない……門倉貴史
- ◆ 買物難民 一もうひとつの高齢者問題……杉田 聡
- ◆ 折り・たたみ方手帖 ……パッチワーク通信社
- ◆ しあわせ米粉クッキング ……村上祥子
- ◆ ナンバ式元気生活 一疲れを知らない生活術 一 矢野龍彦
- ◆ みんなほんもの……相田みつを
- ◆ 濃した女の子におなじみ 一日本人らしいひと……阿久 悠
- ◆ 新・介護食レシピ 一食べる喜びを……多田鏗介
- ◆ 恋色の日本語……山下景子
- ◆ 質問会議 一チーム脳にスイッチを入れる! ……清宮善美代
- ◆ 大銀杏を結びながら 一特等床山・床寿の流儀……床寿

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- ◎ 市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



地域のふれあいの場に「ときわの森」

沼田小学校・ときわの森整備事業



▲竣工式でのテープカット

子どもたちに、地域の人とふれあいが自然や水辺の環境について学んでもらいたいと沼田小学校とPTAなどが中心となって校舎東側にある「ときわの森」に水辺の環境に親しむビオトープを整備しました。



▲子どもたちによる魚の放流

二月から工事を進め、保護者が中心となって排水路の整備などを進めてきました。広さ約二十五平方メートルのビオトープには水草などが植えられ、学校脇の水路の流水を利用した直径約一・八メートルの水車も設置しました。



▲子どもたちが魚や水の流れを観察

放流し、児童代表が「みんなの笑顔があふれる場所になりました。つくってくれたみなさんに感謝して、地域のふれあいの場所として、環境を守りながら元気に遊びます」とあいさつし、全校児童が「大好きなこの学校」を合唱して完成を祝いました。

だ。慶長十九年(一六一四)の大坂冬の陣では小田原城勤番を、翌年の夏の陣には江戸城警護を務め、また元和三年(一六一七)の日光東照宮の手伝い普請の任務では、先頭に立つて工事を指図した。この成就記念として政盛が寄進した石灯笼が、東照宮境内に現存している。

慶長十五年(一六一〇)には、隣接の平城主鳥居忠政の妹後の真室御前を正室に迎えた。彼女は病身で、また乱心気味の姫君であったが、大名取りつぐし政策が強力に進められた江戸時代初期において、幕府と縁の薄い戸沢家にとって、譜代大名である鳥居家と縁を結ぶことが必要であったのである。政盛は真室御前を生涯にわたって丁寧に扱い、新庄転封後も鳥居家には深い配慮をしている。

ふるさと・新庄への思いを画布に

新庄市名誉市民近岡善次郎寄贈絵画シリーズより・その11

『ふるさとの家』

(F50号/油彩)



はつきりするのである。

こうした光景は、現実にはありえないはずだが、子どもたちが描くことは、ふだんよくある。

新庄が市制施行の年、昭和二十四年に最上児童館を創設し、以後半世紀を超えて子どもたちの情操面を育ててきた画伯だが、逆に、新庄・最上のこともたちからも、大きなエネルギーをもたらしていたのではないだろうか。

この絵を見ていると、そんな気持ちにさせられる。

この作品は、11月12日から、ふるさと歴史センターで展示されます。

近岡画伯の生家のある馬喰町(新庄市大町)を描いた作品だが、天地左右を逆にして、どの方向から見てもおもしろい。家々も逆さま、まちを行き交う人々も逆さま、それに画面には画伯のサインが見当らない。

実は、カンバスの裏面に「ふるさとの家」と画題が残されており、それでこの油絵の天地が

市長



商店街の底力で「味覚まつり」大成功!

第一回新庄味覚まつり「おらだの んめ物語り・秋の陣」を開催したところ、なんと新庄まつりに次ぐにぎわいがあったとの評判で、商店街の底力を感じました。

前日開催された「全国一〇〇円商店街サミット」の出席者も、自慢の特産品を持ち寄って味覚まつりに参加。それぞれの地域の特産品をつなぐ「アンテナモール」も同時にオープンし、駅前・南本町・北本町・中央通り各商店街は、大勢の人でにぎわいました。

さらに、「こうせ新庄」で開催された「健康福祉まつり」の健康診断コーナーにも、大勢の人が訪れていました。

なんといつても、天気が後押ししてくれました。午前十時の開会と同時に各食べ物コーナーは長蛇の列で、午後三時まで開催する予定が正午前には食べ物がなくなるなど、主催者泣かせとなりました。

第一回目ということで、手探りで始まった事業ですが、商店街が一つになって、それぞれ工夫を凝らして主体的に取り組んだことは、今後につながる大きな一歩になったと思います。「新庄の味覚はすごい」とつくづく思った一日でした。

紙の 写真

ひとりでできた!

～キッズ・キッチン
新庄教室～



キッズ・キッチンは、子どもが一人で料理を作るという貴重な体験を通して、子どもの自立心を養い、食の幅を広げることを目的に、市民活動団体「Feel」と市教育委員会が共催しました。会場の保護者たちは、わが子の包丁さばぎに、手助けしたくなるのをがまんして見守っていました。

9月月末現在の新庄人

39,798人(40,134人)

女 20,771人(20,926人)

男 19,027人(19,208人)

世帯数 13,511世帯(13,471世帯)

9月の異動

出生 41人(35人)

死亡 31人(27人)

転入 67人(59人)

転出 83人(55人)

※()は1年前の住民基本台帳